

平成26年度

松前町の取り組みとお金の使い方



皆さんの手元にお金があるとき、それをどのように使っていくか
家族や友達みんなと相談して計画を立てますよね？

それは、町でも同じこと。
松前町も、町民の皆さんと「水きらめき笑顔あふれる」町にしていくために、
平成26年度の取り組みとお金の使い方について計画を立てました。

今回は総合計画の6つの柱に沿ってお知らせします。

健やかでやさしい松前町をつくる

福祉・健康 子育て

取り組みの
キーワード

▶高齢者支援の充実

第5期松前町介護保険事業計画に基づき、配食サービスや緊急通報体制の整備など高齢者への各種在宅福祉サービスを充実・強化していきます。

●在宅福祉サービス事業 950万円

▶障がい者支援の充実

障がい者が快適に生活できるよう医療費の助成や在宅介護の支援などを行い、在宅福祉施策を充実していきます。また、身近に相談ができるよう体制を強化します。

●心身障がい者福祉事業 4億3,079万円

▶健康づくりの推進

第2次松前町健康増進計画に基づき、生活習慣病やがんなどの早期発見や治療につながるよう受診しやすい環境を整え、総合健診やがん検診の受診率の向上を図ります。

●総合健診事業 3,490万円

●がん検診推進事業 849万円



▶その他

地域での福祉活動の中心となる松前町総合福祉センターの設備の充実などを行っていきます。

▶子育て支援の充実

平成27年度に本格的にスタートする子ども・子育て支援新制度に向け、子ども・子育て会議など体制を整備します。

子育て家庭の負担を軽減するため、入院にかかる医療費の助成対象者の範囲を中学3年生まで拡大します(広報まさき3月号参照)。

●子ども・子育て支援新制度事業関連 411万円

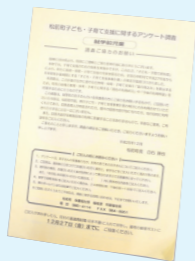
●乳幼児・児童、養育医療費助成事業 8,191万円



新制度に向け始動した「子ども・子育て会議」。幼稚園・保育所の先生や保護者、子育て支援に関わりのある人たちが、地域の実情に合った子育ての事業についての計画を立てたり、町内の保育施設の定員などの審議を行ったりします。

皆さんの声を基に 子育て支援のための計画を作ります

昨年の12月に、就学前児童の保護者の皆さんにアンケートを送りました。そこで皆さんからもらった声を基に、子ども・子育て会議の中で松前町の子育てについての課題を検討し、改善していくための計画を作っていきます。



interview



村上志穂さん
Murakami Shihō

子育てをしている人が 身近に相談できる場所を

ある地域では、幼稚園の中に心理学の先生がいて、幼稚園のことだけでなく、家庭のことなどさまざまな話を相談できると聞きました。知り合いではないからこそ気軽に話せる話もあります。身近な所にそんな場所があればいいと思います。

安全・安心・快適な松前町をつくる

環境・水道 ごみ・防災

取り組みの
キーワード

▶公園・緑地・水辺の保全

街区公園と親水公園の維持管理や遊具を新しくするなどして、より安全で快適に遊ぶことができますようにします。

●公園管理事業 2,122万円



本年度は高柳公園、福徳泉公園の遊具などを新しくしていく予定です。

▶消防・防災の充実

松前町防災対策プロジェクトチームで検討された災害対策強化策を実行するため、引き続き液状化検討など防災対策事業を進めていきます。

また、防火服など消防団の設備などの充実強化を行うほか、伊予消防等事務組合の「はしご付消防自動車」を新しくするなど、災害からみなさんの生命・財産を守っていきます。

●防災対策事業関連 1,998万円

※防災行政無線難聴対策、災害時協力農地周知看板設置、液状化検討業務などを行います。

「市民の声を聞きました」

震災を自分のことと考えてもらえるようなイベントを

interview



坂本マズミさん
Sakamoto Masumi

昨年できた「海抜が表示された看板」を見るだけでも、災害について考える機会を持ちました。だから、震災のことを知ってもらえるようなイベントがあれば、みんながもっと「自分にできること」を考える機会が増えると思います。



▶生活環境の整備

環境保全と公衆衛生の向上を図るため、浄化槽の設置を補助します(P.20参照)。また、市街化区域内の水路で汚泥が堆積した排水路が増加しているため、汚泥処理と清掃を行います。

大雨での浸水被害を軽減するため、老朽化が見られる早船川水門・排水機施設整備に着手します。

●浄化槽設置整備事業 3,399万円

●町管理排水施設維持管理事業 3,618万円



▲早船川水門(北黒田長尾谷川)

▶その他

カーブミラーの劣化点検などをして交通事故防止を図ります。また、太陽光発電システムの設置やアスベストの含有調査・撤去工事に費用を助成したり、ごみの減量化を図ったりして環境にも配慮していきます。

pick up

液状化検討業務

本年度予算を計上した液状化検討業務では、町や協力機関が持っているボーリングデータを基に、業者にデータの収集、整理と液状化の度合いを検討してもらう予定です。

Q.液状化って?

地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまい、地盤が水に浮いたような状態になってしまう現象です。地面から水があふれて道路が水浸しになる、電柱が倒れる、家が傾くなどの被害が起こる場合があります。

▼液状化の例(東日本大震災にて、平成23年4月16日千葉県で撮影)



飛躍を支える松前町の基盤をつくる

住宅・情報化 道路

取り組みの
キーワード

▶市街地の整備

旧市街地の老朽放置建物を敷地の寄付を受けて町が除去することで、住環境の改善を図ります。

●住環境改善事業 1,787万円

▶住宅施策の推進

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断、設計と耐震改修費用の一部を助成します。また、居住環境の安定を図るため、町営住宅などの改修を行います。

●木造住宅耐震化促進事業 624万円

▶情報化の推進

平成 27 年度から開始される社会保障・税番号制度の導入に向けたシステムの構築と改修を行います。

●社会保障・税番号システム構築事業 1,179万円

▶道路・交通網の充実

老朽化している町道と地域で要望があった道路を補修し、道路環境の改善と交通安全を確保します。

●町道等維持事業 5,470万円
●一般町道等整備事業 120万円 ▲改修予定の町道(古泉駅前)



▶▶ 25 年度の取り組み事例からフレッシュ BOX に投書のあった「上高柳の通学路」の道路の補修を行いました。このように、地域からの要望にもできる限り対応するためのお金も予算に組み入れています。

安心して通うことができる通学路に



田中美羽音ちゃん
金林愛美ちゃん

学校までの道のりで「歩道の幅が狭いな」と感じるところがあります。そこがもう少し広くなったら、もっと安心して通学できると思います。

interview

コミュニティ 人権

取り組みの
キーワード

みんなで力を出し合う松前町をつくる

▶コミュニティの育成

地域の皆さんが利用する集会所や広場などのコミュニティ施設の整備費用を助成し、地域の生活福祉の維持向上を図ります。

●コミュニティ対策事業 449万円



笹山伊智代さん
Sasayama Ichiyo

子どもから大人までみんなが集まれるコミュニティ施設を

小さな子どもたちがコミュニティ施設で遊ぶことができる設備があれば、もっとママ世代の人たちも気軽に利用できるのではないかと思います。幅広い年代の人がもっと利用しやすい場所になればうれしいです。

▶協働のまちづくりの推進

ボランティア団体へ運営費を助成するなど、NPO・ボランティア団体などの活動の育成を推進していきます。

●NPO・ボランティア団体活動推進事業 256万円



教育・文化 スポーツ

取り組みの
キーワード

▶学校教育の充実

北伊予中学校の耐震工事などを行います。また、幼稚園就園奨励補助金の補助単価を見直し、保護者の負担を軽減します。

●学校耐震化事業(北伊予中学校) 2億4,376万円
●幼稚園就園奨励補助金事業 908万円

▶生涯学習の推進

みんなが参加できる「ふれあい学園」を中心とした生涯学習の講座を行います。

●社会教育事業 398万円

▶国際化、交流活動の推進

姉妹都市の北海道松前町の小学生と交流を行います。

●姉妹都市交流事業 269万円

▶商工業の振興

昨年に引き続き生産者、関係団体と連携したイベントや知名度アップに向けた情報発信などを積極的に行い、地場産業の発展を図ります。

●商工振興育成対策事業 884万円
●地場産業推進事業 938万円



interview

多方面で商品や松前をPRできる機会を

引き続き「うまいものフェア」などに参加し、町の活性化のため応援していきたいです。またこのフェアのように消費者に向けてのPRだけでなく、バイヤー向けにも商品や松前をPRできるような機会や支援体制があればいいと思います。

松前町商工会会長
三好茂さん
Miyoshi Shigeru

豊かでにぎわいのある松前町をつくる

取り組みの
キーワード

人と文化が輝く松前町をつくる

▶スポーツの振興

平成 29 年愛媛国体開催に向け関係団体と協力体制づくりを行うほか、会場施設整備に取り掛かります。

●国体施設整備事業 700万円



ホッケー場建設予定地の町民グラウンド(鶴吉)

もっと人工芝の環境で練習して愛媛国体で活躍したい



松前ホッケークラブの皆さん

県内には人工芝のホッケー場はありません。松前町に人工芝のホッケー場が完成したら、そこで練習を頑張って、愛媛国体に出場したいです。

interview

▶農水産業の振興

国の農業政策の見直しに合わせ、米の生産調整と農業経営の所得安定施策の制度が円滑に行えるようにします。

農業用水路・農道などの補修などを支援し、農業関係施設などの長寿命化対策の強化を図ります。また、町が管理する揚水施設の維持管理を計画的かつ適切に行い、農業用水が安定して供給できるようにします。

各種土地改良事業を行って、労力の軽減や経費の削減を図り、安定した農業経営が行えるようにします。

●水田農業経営確立対策事業 354万円
●新規就農総合支援事業 225万円
●土地改良事業 2,044万円

農水商工業

89億7,781万円 (前年比1.3%増)

Point 前年度より厳しい財政運営

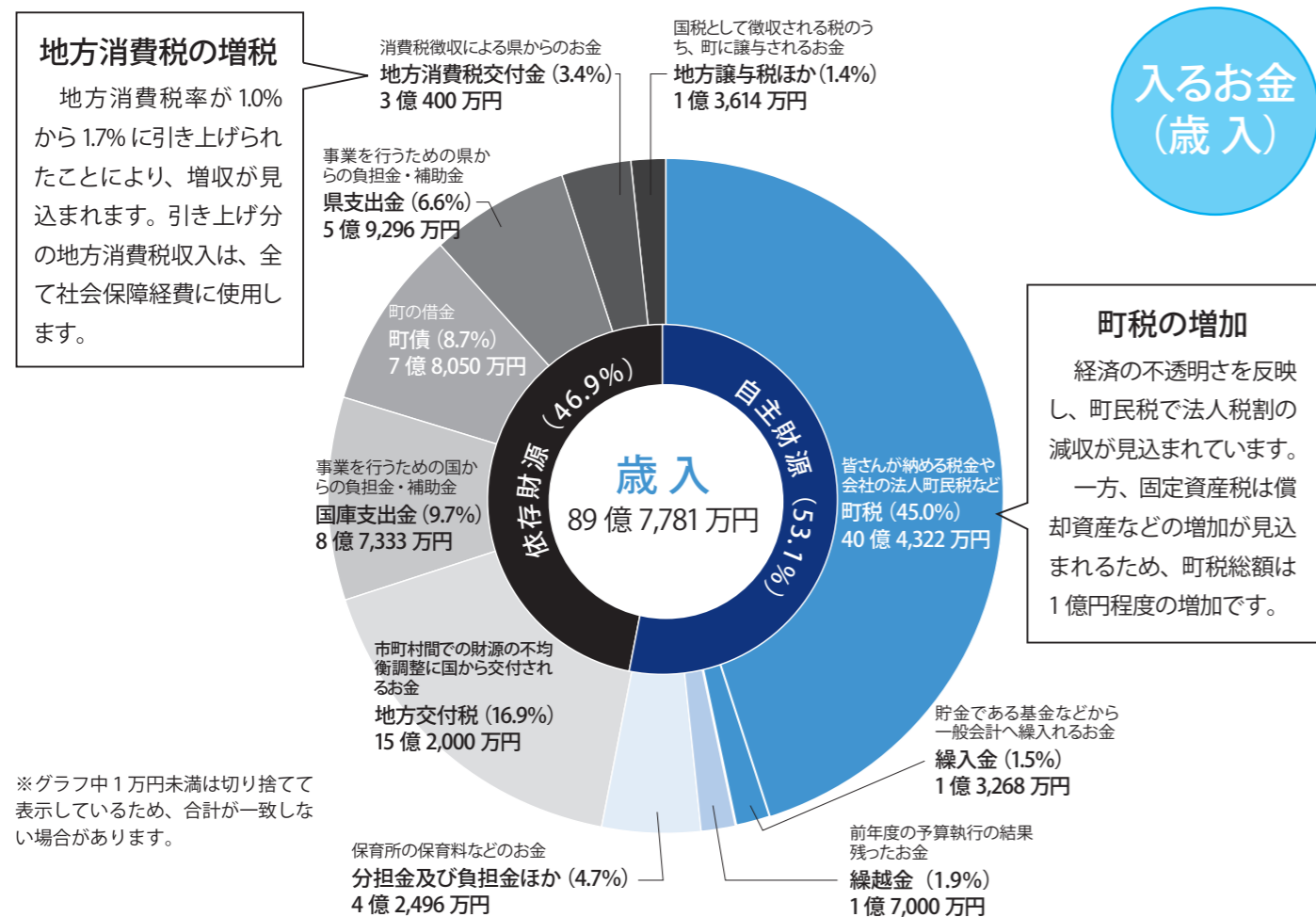
歳出は、消費税増税への対策などの予算を計上しましたが、前年度の総額に比べ約1億2,000万円の増加に留めています。これは、更なる義務的な事務経費や人件費の削減を行ったことによります。

歳入は、「自主財源」と「依存財源」の2つに分けられます。

「自主財源」は、町税をはじめ、町が自主的に収入できるお金です。「依存財源」は、国や県から交付されるお金や借金をいいます。自主財源が多いほど町の運営は安定し、独自性を保つことができます。

本年度は前年度に比べ、自主財源の構成比が3.3%減少しており、厳しい財政運営となっています。

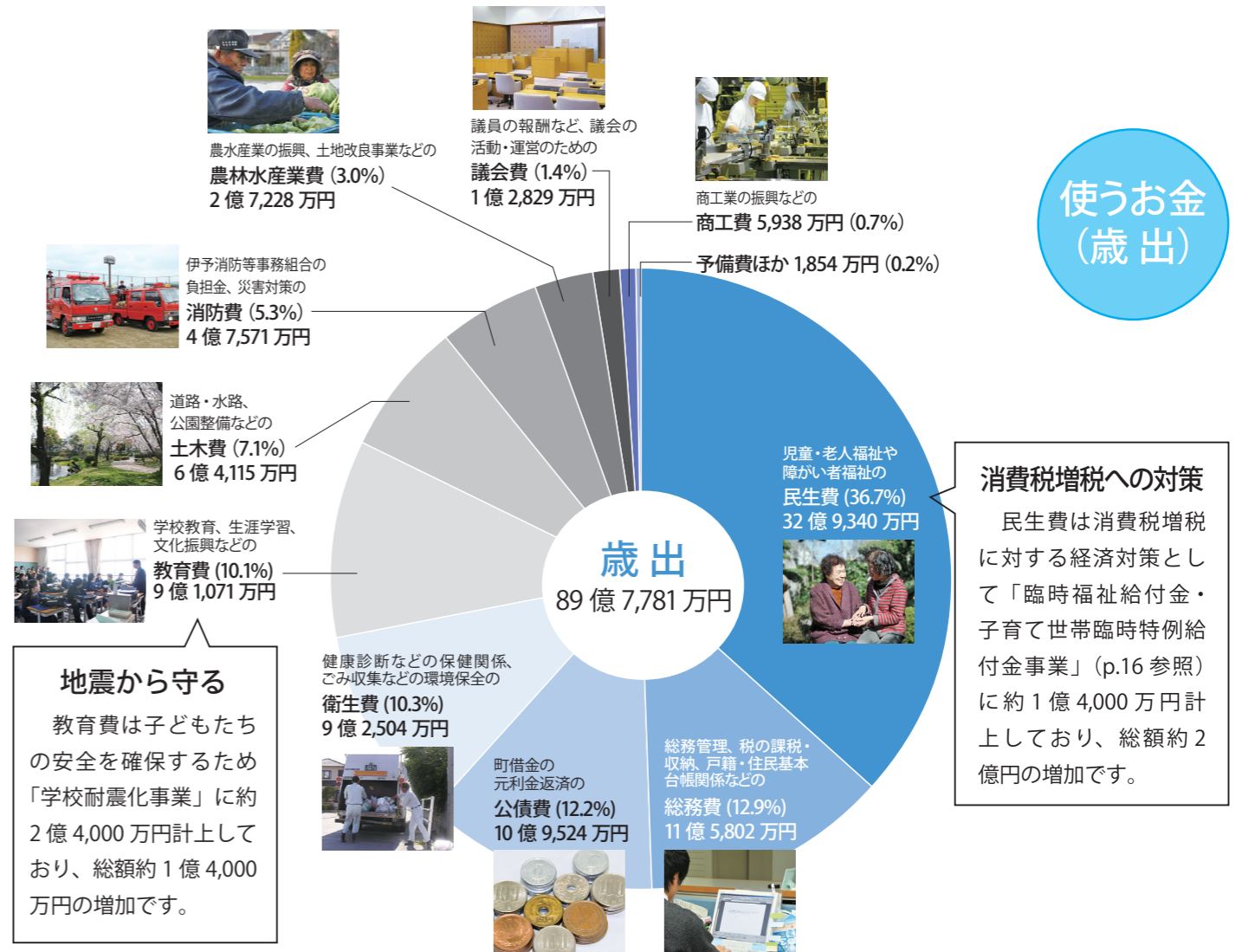
予算とは、使うお金（歳出）と入るお金（歳入）をいいます。ここでは、お金の視点から約89億円をどの分野にどのくらい使い、その収入をどのように見込んでいるかを紹介します。



入るお金 (歳入)

町税の増加
経済の不透明さを反映し、町民税で法人税割の減収が見込まれています。一方、固定資産税は償却資産などの増加が見込まれるため、町税総額は1億円程度の増加です。

※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。



使うお金 (歳出)

消費税増税への対策
民生費は消費税増税に対する経済対策として「臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金事業」(p.16参照)に約1億4,000万円計上しており、総額約2億円の増加です。

地震から守る
教育費は子どもたちの安全を確保するため「学校耐震化事業」に約2億4,000万円計上しており、総額約1億4,000万円の増加です。

一緒に。よろよろ町入

町のお金と皆さんの生活は表裏一体のようなものです。町にとっての「支出」は、皆さんにとっては生活を向上させることとなる「収入」です。一方、町にとっての「収入」は、皆さんにとっては税金などの「支出」となります。皆さんからの税金や地方交付税などを使い、町が各事業に取り組んでいくことで、本当に皆さんの生活が向上し、喜んでもらっているのか。

これらを判断していくのは、町民一人一人の皆さんです。だからこそ、町の取り組みや予算を知ることが大切です。また、それらを知って感じた思いを「声」に変えることで、私たちの町がさらによくなる町に変わり、皆さんの笑顔が生まれていきます。

「水きらめく」松前町がもっと「笑顔あふれるライフタウン」となるように、一緒に取り組みや予算を理解して、行動に移していきましょう。

平成26年度予算規模 (単位：千円、%)

	26年度	25年度	増減率
一般会計(町の運営の基本的な経費を一つにまとめた会計)	8,977,816	8,859,300	1.3
国民健康保険特別会計(国民健康保険の保険給付などを取扱う会計)	3,443,138	3,501,818	△1.7
後期高齢者医療特別会計(後期高齢者医療の保険給付などを取扱う会計)	391,411	381,529	2.6
介護保険特別会計(介護予防や介護に関するサービスを取扱う会計)	2,656,113	2,573,259	3.2
公共下水道事業特別会計(下水道管や処理施設の整備費用を取扱う会計)	572,225	605,996	△5.6
特別会計 合計	7,062,887	7,062,602	0.0
水道事業会計(企業会計)(安全でおいしい水を供給するための費用を取扱う会計)	611,181	637,835	△4.2
総 額	16,651,884	16,559,737	0.6